

登録コード	TSX07600	開講年度	2026			
授業科目	建築保存再生設計学実験				担当教員	土本 俊和
英文授業名	Advanced Laboratory Work in Urban Morphology				副担当	
単位数	4	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	実験	備考	
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				⇔	【授業の達成目標】
	2 4TSカリ, 2 3TSカリ					
	【研究科共通】人類, 社会の平和的・持続的発展のために, 研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観				⇔	人類, 社会の平和的・持続的発展のために, 研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観
	2 6TSカリ, 2 5TSカリ, 2 4TSカリ, 2 3TSカリ					
	【専攻】工学分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観				⇔	工学分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観
(2)授業の概要	建築ないし都市の成立過程に関する特定のテーマをまず選択する。つぎに、資料の収集に関する目的と方法を決定する。資料の収集の方法は、資料館での文献調査および野外でのフィールド調査の二点から成る。各自の研究対象にもとづいて収集された資料を整理した上で、ディスカッションをおこないながら、各自で分析をすすめる。分析の手法は、資料の読解と資料の図化の二点から成る。以上の作業を踏まえ、都市環境の成立過程に関する仮説を構想する。さらに、その仮説を実証していく。					
(3)授業計画	第1段階 1-1: 各自の研究テーマに応じて、資料を収集する計画をたてる。(集中10時間 1コマ2時間×1日5コマ) 1-2: 収集されるべき資料の全体像を把握する。(集中10時間 1コマ2時間×1日5コマ) 第2段階 2-1: 資料館で資料を収集する。(集中10時間 1コマ2時間×1日5コマ) 2-2: フィールドで資料を収集する。(集中10時間 1コマ2時間×1日5コマ) 第3段階 3-1: 収集された資料を整理しながら、分析をくわえる。(歴史資料の読解と図化)(集中10時間 1コマ2時間×1日5コマ) 3-2: 収集された資料を整理しながら、分析をくわえる。(現状の把握)(集中10時間 1コマ2時間×1日5コマ) 第4段階 4-1: 資料を分析する過程で発想された事柄を、カード等の形式にて記録する。(集中10時間 1コマ2時間×1日5コマ) 4-2: 資料を分析する過程で発想された事柄を、KJ法などを用いて、整理する。(集中10時間 1コマ2時間×1日5コマ) 第5段階 5-1: カード化されたデータを、パラグラフとしてまとめる。(集中10時間 1コマ2時間×1日5コマ) 5-2: 有意義な仮説を構想する。論文の章立てを構想する。(集中10時間 1コマ2時間×1日5コマ) 第6段階 6-1: 構想された仮説にもとづいて、参考文献を組織する。(集中10時間 1コマ2時間×1日5コマ) 6-2: 既往研究をチェックする。(集中10時間 1コマ2時間×1日5コマ) 第7段階 構想された仮説を結論として位置づけるために、論文の構成を各自が提出する。(集中10時間 1コマ2時間×1日5コマ) 第8段階 最終プレゼンテーション・討論(集中10時間 1コマ2時間×1日5コマ)					
(4)成績評価の方法	①作業予定の構想、②資料収集の方法とその実践、③資料の分析、④仮説の構想、⑤論証 方法の提示といった点の達成度を、数回の口頭発表および最終レポートを通じて、評価します。					
(5)成績評価の基準	最終レポートで60点以上を取れば可					
(6)事前事後学習の内容						
(7)履修上の注意						
(8)質問,相談への対応	メールで対応します。 tsuch01@shinshu-u.ac.jp					
(9)その他						
【教科書】	指定しない。					
【参考書】	土本俊和『中近世都市形態史論』中央公論美術出版、2003年 土本俊和『棟持柱祖形論』中央公論美術出版、2011年					